

市町村名		中城村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④ 観光客誘客促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア				
担当部課名	企業立地・観光推進課	事業実施（予定）年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本村や沖縄県の観光客誘客促進のため、本県のサッカーチームの県外試合の際に、試合前やハーフタイムに地域のキャラクターごさまる等を活用して本村・沖縄県の観光PR活動やキャンプ誘致活動を行うことで、観光客誘客促進を図った。また、サッカー教室など地域でのイベント開催を通して、地域のスポーツ振興を図った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		8,500				
			6,835				
			▲ 1,665				
			—				
			6,835				
	B. 執行済額		6,230				
	うち交付金充当額		4,983				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		91.1%				
予算の状況の説明		・計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 ・サッカーキャンプ誘致に成功したため、当初計画よりも旅費を減額補正した。 ・不用額は需用費等の執行残によるものであり、計画的な予算執行に努めた。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	観光PR活動の実施	目標	（観光PR活動の実施）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績	観光PR活動の実施				
	キャンプ誘致活動	目標	（キャンプ誘致活動の実施）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績	キャンプ誘致活動の実施				
	特産品開発	目標	（特産品開発の実施）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
実績		未実施					
達成状況説明	・本村の魅力を県外にPRするため、FC琉球の公式戦において観光PRイベントを実施し世界遺産中城城跡をはじめ村のPRを行った。 ・トップセールス等によるキャンプ誘致活動を実施し、Jクラブを訪問した。1月及び2月のサッカーキャンプ誘致（2チーム）に成功した。 ・観光客誘客促進を図る中で、目標達成のスキーム（キャンプ誘致活動、県外での村PR活動）を実施するためのツールの1つとして特産品開発を当初計画していたが、費用対効果を再検討した結果、既存の特産品で十分に成果を得ることができると判断したため、未実施となった。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度（3-④）	26年度（2-③）	27年度（2-③）	目標値（28年度）
	観光PRイベントの開催	目標	（ - ）	（ 2回 ）	（ ）	（ ）	（ - ）
		実績		2回			
	キャンプ誘致活動	目標	（ ）	（ 5回 ）	（ 2チーム ）	（ 2チーム ）	（ 2チーム ）
		実績		6回	3チーム	3チーム	2チーム
	特産品の開発	目標	（ ）	（ 1～2種類 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		0			
	【参考指標】		目標	（ 89,000 ）	（ 105,000 ）	（ 120,000 ）	（ - ）
中城村観光客の増加		実績		119,000	120,000	133,541人	133,899人
進捗状況説明	中城村観光客数については平成28年度の目標値である150,000人には届かなかったが、中城城跡入場者数は基準年から年々増加しており平成28年度には基準年である平成24年の1.5倍に伸びている。 なお、サッカーキャンプの誘致活動については現在も継続している。平成28年度には中城城跡並びに村内飲食店を利用したスタンプラリーを実施するなど、村全体でキャンプ地としてムードを醸成し、受入体制の強化並びに観光客の満足度を向上させるよう取り組んでおり、年2～3チームほどのキャンプを受け入れている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の他市町村もサッカーキャンプ誘致に積極的に取り組んでいることから、今後は同一チームに対して複数の市町村から誘客がかけられる可能性もあり、継続した誘致ができるか不透明である。 ・トレーニングマッチの際などは大勢の観光客が訪れるが、練習の無い日などは観光客数が落ち込んでしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中城村を継続してキャンプ地として利用してもらえるように、キャンプの誘致・支援活動と共にクラブチームとの関係の強化を図る必要がある。 ・キャンプ中、練習の無い日にも誘客できるような楽しめるキャンプ地づくりが必要である。

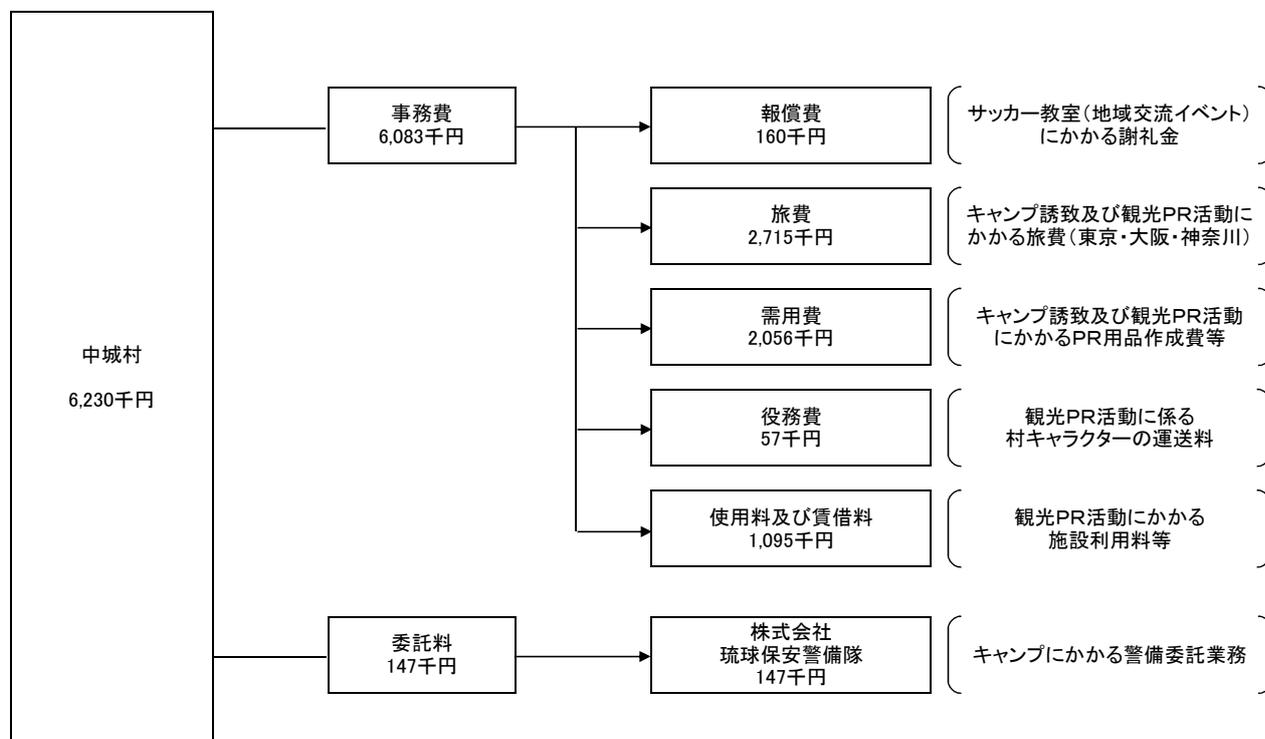
今後の取り組み方針

- ・キャンプ誘致を行っているクラブチームのホームスタジアム戦の際、中城村のPRを行い中城村とクラブチームの関係強化を図る。
- ・スタンプラリーの参加店舗を増やすなど、観光客が能動的に楽しむことができるキャンプ地づくりに取り組む。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,230	6,230	4,983	1,247	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は警備に関する実績を勘案したうえで選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	